

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 久留米筑水 高等学校

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>「地域や社会で必要とされるスペシャリストの育成」 ～「Only One(唯一の学校)」から「Special One(特別の学校)へ」～ 「農業」「福祉」「調理」の分野における知識・技術の習得をはじめ、心豊かな職業人としての使命感や誇りを持つスペシャリストの育成に加え、 目まぐるしい社会に対応し得る人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣を確立し、基礎学力の向上を図ることで、将来を切り拓く力 ○社会における自己の役割を認識し、自他を尊重する態度 ○課題解決に向けて前向きに挑戦し、主体的に取り組む力(チャレンジ力) ○「農業」「福祉」「調理」の専門力、並びに地域を大切にし、地域に貢献できる能力と態度
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎学力の定着を図るため各専門分野の基礎から応用に向けた段階的学習カリキュラムの編成 ○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業時にグループワーク、討議、発表等の導入 ○生徒一人一人を大切に、個別最適な学びの実現に向けた少人数や習熟度別授業の導入とICT活用 ○自ら課題を発見し解決していく資質・能力の育成
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○協働と奉仕の精神に富み、人権を尊重する心豊かな人 ○社会の変化に対応できる柔軟な思考を持っている人 ○学習活動、学校行事、部活動、探究活動などに意欲的に取り組む人 ○「農業」「福祉」「調理」の各分野の知識・技術の習得や資格取得に対して意欲的に取り組む人 ○地域や社会に貢献し、人の役に立ちたいという気持ちを持つ公共心あふれる人

学校運営計画(4月)

学校運営方針			評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
<p>○成果 1 ICT機器やオンライン学習支援 ツールを活用した個別最適な学び により教育活動が充実した。 2 計画的な職員研修会の実施に より特別な配慮を要する生徒への 理解ときめ細かな生徒指導を实践 できた。</p>	<p>学習環境を整え、基礎学力の定着と 自ら学ぶ力の学習を図り、社会的自 立の基盤となる確かな学力を育成す るとともに、実践力を向上させる。</p>	<p>基礎学力の定着と学習意欲及び実践力の向上に向け、ICT機器やオンライン学習支援 ツールを活用した多様な学びにより、主体的で、個に応じたきめ細かな指導を行う。 1時間の授業を大切に。生徒理解に基づいた観点別学習目標の設定と指導により、対話的で 深い学びと評価の場面を明確化した授業を行い、確かな学力の育成を図る。 各学科等での学びの特色を生かし、資格取得やコンテスト・各種競技等へ向けた指導を充 実し、キャリアアップを図る。 動画授業コンテンツ、Classroomでの課題指示などオンライン学習環境を整備し、災害や 感染症等で登校できない場合でも生徒の学びを止めない。</p>	

様式3

<p>○課題 1 社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と実践力の向上 2 幅広い人材育成とキャリア教育の充実 3 他者理解と対人コミュニケーション能力の育成</p>	<p>農業・福祉・調理の専門分野におけるスペシャリストの育成に加え、社会の状況を踏まえた幅広い人材を育成するため、キャリア教育の充実を図り、希望進路を実現する。</p>	<p>3年間の継続的・組織的な指導体制のもと、効果的な現場実習や外部人材の活用により生徒の進路意識を高揚させ技能を習得させる。 各学科において、将来のスペシャリストにふさわしい専門知識と技能を身につけさせつつ、幅広い職種に対応できる勤労観と職業観を育成する。 生徒の希望進路決定100%の実現に向け、企業及び大学等との連携を通して、生徒の興味・関心及び適正を重視した進路指導を行う。</p>		
	<p>対人コミュニケーション能力の育成と規範意識の高揚を図るとともに、自律心と自分と異なる他者への理解と思いやりのある心豊かな人間を育成する。</p>	<p>挨拶、時間厳守、礼儀作法、整理・整頓、頭髪・服装、スマートフォン等のマナーアップ指導を全職員で徹底する。 部活動を豊かな学校生活を体験する場として位置づけ、自主的・自発的加入を促進し、体力や技能の向上に加え責任感や連帯感を涵養する。 全教科・領域、学校行事、ボランティア活動等において、対話的な活動を位置づけ、自尊感情の育成、自律心と相手を思いやるコミュニケーション力の育成を図り、いじめの撲滅と人権意識を高揚させる。 担任、学年、学科相互や、外部機関との情報共有を図り、SC、SSWや保護者等との連携した教育相談体制のもと、中途退学者を減らす。</p>		
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
教務課	<p>教員の授業改善を図り、生徒の社会的自立の基盤となる確かな学力の育成と社会で柔軟に対応できる力の向上のための取組を実践する。</p>	<p>ICT機器を用いて、効率的・効果的な授業実践を図る。また、一人一台タブレットの活用で「個別最適化」の学習の実現を図る。 「主体的・対話的で深い学び」の実践によって、学習意欲の向上や思考力・判断力・表現力の向上、学習内容を定着させ、社会で柔軟に対応できる力を育成させる。 令和6年度で完全実施となる新教育課程に伴う観点別評価において、これまでの実践や他校の取組状況を比較し、より良い教務規定を作る。</p>	<p>学科選択希望調査アンケート 授業アンケート</p>	
	<p>学力向上・授業改善のための学習環境の整備を図る。</p>	<p>情報処理室・視聴覚教室等・電子黒板等、教育設備の整備と有効活用を図る。 教科担当者会等において、生徒情報等を共有し、「個別最適化学び」や「協働的な学び」意識した授業改善につなげる。 定期考査や観点別評価の実践におけるサポートを各学年において実践する。</p>		
企画庶務課	<p>各部・各課との連絡調整を行い、円滑な校務運営に努める。</p>	<p>企画庶務主催の各行事は、組織的に連絡調整を行い円滑に実施する。 学校要覧、新入生のしおり等を各課や事務室と連携し円滑に作成する。 課内の連携と強化に努める。</p>	<p>生徒指導記録</p>	
	<p>広報活動の推進に努め、本校教育内容のPRに努める。</p>	<p>筑水通信を年4回程度、ホームページへ掲載する。 PTAと連携し、地域に根ざした教育活動を推進する。 PTA活動の理解を深め、より多くの保護者へ発信する。</p>	<p>PTAアンケート</p>	

様式3

生徒指導課	自己指導能力の育成	規範意識の醸成や社会的自立のための適切な指導を行う。 職員間の情報共有をスムーズに行い、問題行動の未然防止と早期発見に努める。 体育祭の成功に向けて、リーダーの育成と計画・運営の協力体制を構築する。	学校生活アンケート	
	安全安心な学校生活づくり	SNSやスマートフォンの正しい利用方法等の情報モラル教育を充実させる。 交通安全教室を実施し、生徒が主体的に交通マナーを遵守し、事故を撲滅する。 全職員で学校いじめ防止基本方針を理解し、未然防止・早期発見・防止に取り組む。	いじめアンケート いじめ早期発見のための家庭用チェックリスト	
保健課	生徒の健康増進と安全に対する意識の醸成、学校環境の整備と保全を心がけ美しい学校作りを目指す。	健康と安全に関する啓発活動の一環として、保健だよりの充実を図る。 健康診断等を通して生徒の健康状態を把握し、個別指導・支援に繋げる。 生徒の衛生面、安全面の管理の徹底、美化委員を中心に美化コンクールの実施、道具の整備にあたる。	心と体の健康調査 掃除用具調査	
	教育相談・特別支援教育の充実を図る。	学校生活アンケートや面談週間の実施により、いじめ等の早期対応に努める。 講演会や保健だよりの発信により、他者との関わりやストレス対処法についての教育を行う。 合理的配慮が必要な生徒に関しての研修会等を行い、職員間の共通理解を図り、支援策を検討する。	学校生活アンケート カウンセリング希望調査	
進路指導課	進路意識の向上	進路学習や進路ガイダンスを充実・発展させ、主体的に進路について考えさせる。 キャリアパスポートの活用を通して、自分の能力や適性を把握させる。 インターンシップ・職場見学・オープンキャンパス・大学訪問等を経験させる。	キャリアパスポート 進路希望調査	
	進路実現支援体制の構築	生徒一人ひとりに関して、学年・学科と共通認識を図り、きめ細かい進路指導を行う。 各学科と連携し、さらに補強すべき力の育成を提案するとともに、進路先開拓を行う。 朝学の実施、基礎学力テストの事前事後指導を通して、学力向上と進路実現を図る。	基礎力診断調査	
広報情報課	教職員・生徒を対象としたIT関連知識・技術について習得・推進する。	生徒に対して有益な情報を、様々なネットワーク機器を活用して伝えるとともに、職員の指導技術の向上に努める。 本校の全職員で学校ホームページ等を活用し、積極的に外部に情報発信ができるようにする。 学校ホームページにおいて、できる限り新しい情報を提供していく。	タブレット端末活用調査	
	志願者を増やし定員を確保するため、地域を中心に幅広い広報活動に努める。	中学校訪問に関する企画・運営を行う。 体験入学・親子相談会・進路相談事業に関する企画、運営を行う。 見やすくわかりやすい学校ホームページや学校案内パンフレットを心掛ける。	体験入学アンケート 学校満足度アンケート 新入生アンケート	

様式3

図書研修課	「分かる授業」の推進・実践への取組及び職員の資質向上を図る職員研修会の実施	授業アンケートを実施し、その結果を分析して授業改善に取り組む。	授業アンケート	
		積極的な授業参観を促し、互いの授業力を高め合う契機にする。		
		生徒の実態に即した校内研修の企画・立案をする。		
図書研修課	図書の充実・図書館の利用向上及び図書委員会活動の活発化	生徒・教員のニーズを把握し、蔵書の充実を図る。	購入希望図書調査	
		図書館利用のマナーアップを図り、利用しやすい図書館を目指す。		
		委員会会議の定例化を図り、委員会活動の定着と周知に努める。		
第1学年	基礎学力の定着	朝学の時間の定着と、各教科担当者との情報共有および連携を図る。	授業アンケート	
		家庭との連携と、細やかな情報共有を図る。		
		清掃や学校行事等を通し、個人の成長と集団規範の育成を図る。		
第1学年	基本的生活習慣の確立と規範意識の高揚	遅刻・欠席について家庭との情報共有および連携を図る。	生活アンケート 個人面談	
		校則や規範を重んじ、安定した学校生活環境づくりを図る。		
		部活動加入率を上げ、学校行事や生徒会活動等を通し帰属意識を高める。		
第2学年	基礎学力の定着	教科担任会等により、情報の共有及び指導の連携を図る。	授業アンケート	
		保護者への連絡や面談を行い、情報の共有及び指導の連携を図る。		
		考査前に学年による学習会を行い、個々に応じた指導を充実させる。		
第2学年	基本的生活習慣の確立と自律心の育成	出席状況に関して、家庭との情報共有及び指導の連携を図る。	生活アンケート 個人面談	
		体育祭や修学旅行の指導を充実し、帰属意識や連帯感を高める。		
		生徒会や農業クラブ活動への積極的参加を促し、リーダーを育成する。		
第3学年	生徒の進路希望の実現	個人面談や三者面談を丁寧に行い、希望進路を決定させる。	授業アンケート 進路希望調査	
		早い段階から自己の進路について考え、準備ができるように努める。		
		定期的に学年集会等を行い、進路についての意識を高める。		
第3学年	成人として、社会人としての自覚と責任感を持たせる。	体育祭等の学校行事において、主体的に取り組む姿勢を培う。	生活アンケート 個人面談	
		生徒会・農業クラブ・部活動で、リーダーとしての自覚を持たせ、積極的に取り組む姿勢を培う。		
		挨拶や気遣い、時間の守り方など、社会人基礎力を高める。		
農務部	授業内容の充実及び農業クラブ活動の活性化	資格取得の合格率90%を目指し、授業内容の充実を図る。	学科選択希望調査アンケート 検定調査	
		ICT、オンライン等を活用し、先端農業の学習形態に取り組む。		
		農業クラブにおける上位大会への出場を目指し、教科指導の徹底を図る。		
農務部	農業関連産業並びに関連機関との連携	職員研修等を積極的に行い、授業内容のレベルアップを図る。	インターンシップアンケート	
		地域企業や農業大学校等の関係機関と更なる連携を図る。		
		地域のまつりなど各種イベントに積極的に参加し、本校の魅力を外部に伝える。		

様式3

園芸技術科	学習環境を整え、基礎学力の定着を図り、社会的自立の基盤となる確かな学力の育成を目指す。	毎時間のノート及び課題レポートの提出と記述内容の指導を徹底し、表現する力をつける。 実習ノート及びレポートの書き方指導を行い、自発的に取り組む力を育成する。 生徒の学習意欲を引き出す教材の作成・工夫、ICTの活動等をとおして、具体的な授業を展開する。	授業アンケート 学科選択希望調査アンケート	
	専門知識と技能を身につけさせるとともに勤労観、職業観、コミュニケーション力を育成し、進路実現を目指す。	社会人招聘事業・現場実習等を実施し、進路目標の充実を図る。 実験・実習を通して準備・実施・片付けまでの一連の流れを指導し、安全教育、危機管理能力を身に付けさせる。 進路や面接指導などを意識した専門教科指導を充実し、進路意識の高揚を図る。	進路調査	
食品流通科	「学校のパン屋さん」を学科の柱となる活動に進化する。	毎週水曜日課題研究での「学校のパン屋さん」を充実させる。 取り組みを学科宣伝ツールとして進化させる。 就職・進学に結び付く活動に発展させる。	授業アンケート	
	入学定員を確保するための広報活動を行う	中学生・保護者が見たくなる情報発信形態への更新 メディアを活用した広報活動を行う。 中学校の先生が分かりやすく、説明しやすい学習活動を行う。	新入生調査	
造園デザイン科	学習意欲の向上に努め、学力の定着を図る。	座学・実習を問わず記録時間を設定し、書く習慣を身に付けさせる。 進路実現に向けて早期の進路指導を推進する。 教員の専門研修の機会を設定し、資質と技術の向上に努める。	授業アンケート 学科選択調査 資格取得調査	
	短大・地域・企業との連携推進を図り、専門力を高められる技術指導に努める。	校外実習でのボランティア精神の高揚に努め、専門力を向上することができる学習環境を整える。 現場実習及び就職先企業の新規開拓を実施し、進路実現につながる連携強化を図る。 地域行事等に積極的に参加できるように学習環境を整える。	現場実習終了調査	
社会福祉科	基本的な生活習慣や社会性の確立を図る。	挨拶、時間厳守、礼儀作法、服装などのマナーアップ指導を徹底する。 学校行事や地域交流活動、介護実習等の学習体験を通し、自律心、社会性、専門性を育成する。	授業アンケート	
	基礎学力の向上と専門性の定着を図り、福祉資格取得と希望進路の実現を目指す。	専門的知識・技術の習得と学びを生かした学習活動が実践できる環境づくりを行い、表現力や問題解決能力、言語的能力などを身に付けさせる。 資格取得の重要性を理解させ、国家資格取得への意識向上を図る。	施設実習希望調査	
食物調理科	食物調理科の取り組みや魅力を積極的に発信する。	ホームページやInstagramを活用して情報を発信する。 地元企業と連携した取り組みや地元イベントに積極的に参加する。 料理コンクールの入賞・受賞を目指して多くのコンクールへ応募する。	新入生調査	
	専門的な知識と技術の定着を図り、資格取得や検定の合格を目指す。	理論と実習・実技での学びが結びつくように指導する。 ノートやレポート等への記録を徹底するように指導する。 個別指導・支援を細やかに行う。	授業アンケート ホテル実習希望調査	